

## 生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行う学習指導

～やり取りのある場面設定の工夫と段階的指導を通して～

南風原町立南風原中学校教諭 阿波根民子

### I テーマ設定の理由

近年グローバル化の進展に伴い、異なる文化や他言語を話す人々が身近に多く存在してきている。今後、生徒はこのような多くの外国の人々と接する機会がますます増え、グローバル社会でよりよく生きていくためには、英語で主体的にコミュニケーションを図ることが必要になってくる。また、グローバル社会を生きる生徒にとって、様々な場面で英語でコミュニケーションを図ることは生徒の可能性を広げることも可能になる。

中央教育審議会答申では、「外国語を使って多様な人々と目的に応じたコミュニケーションを図れるようにすることが、グローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力の基盤となる。」と述べている。また、新学習指導要領外国語科の目標に「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す」と示されている。このことは、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けたり、外国語で簡単な情報や考えなどを理解し、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力や態度を育成することが求められていると考える。

これまでの実践を振り返ると、文法の定着を図るためのドリル学習などに時間を多く割き、実際に生徒が英語を使ってコミュニケーションを行う場面設定が少なかった。また、実際の場面や状況を設定した活動や、自分の考え、気持ちを伝え合う場面が少なかったため、ペアやグループで英語を発表する際も、一方向から伝えるだけでコミュニケーションとして成り立っていなかった。

そこで本研究では、生徒が主体的にコミュニケーションを行うことができるように、聞くこと、話すことにポイントを絞り研究を進めていきたい。そして、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができるようにコミュニケーションの目的・場面・状況を明確にして授業を展開し、英語を即興で話す場面や教師と生徒、生徒同士のやり取りがある場面設定を工夫し段階的に指導する。

英語学習において、やり取りのある場面設定の工夫と段階的指導を行うことで、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができるであろうと考え、本テーマを設定した。

### II 研究仮説と検証計画

#### 1 研究仮説

英語の学習において、やり取りのある場面設定の工夫と段階的指導を行うことで生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができるであろう。

#### 2 検証計画

事前に行う英語の授業に関するアンケート調査やテストの結果等から、生徒の実態調査・分析・把握を行う。検証授業は、2年5組の学級で9時間程度行う。検証授業では、生徒の発言、ペアやグループ活動の様子、ワークシートの記述、振り返り等により生徒が英語で主体的にコミュニケーションを行うことができたかどうかを考察する。単元終了後にアンケートを実施し、事前調査との比較・分析を行い本研究の仮説を検証していく。

検証授業の対象：南風原中学校 2年5組 [男子18名 女子17名 計35名]		主な検証方法
1 事前調査	○英語の授業に関する事前アンケート (12月)	・事前アンケートの分析
2 検証授業 「話すこと」の領域 Lesson7 World Heritage Sites 9時間	日程	検証の観点 ・やり取りのある場面設定と段階的指導の工夫を行うことで、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができたか。
	・第1時 (1/10) ・第2時 (1/11) ・第3時 (1/15) ・第4時 (1/17) ・第5時 (1/19) ・第6時 (1/23) ・第7時 (1/25) ・第8時 (1/26) 検証授業 ・第9時 (1/29)	
3 事後調査	○事後アンケート (1月)	・事後アンケートの分析 ・自己評価表の分析 ・ワークシートの内容確認 ・授業記録、生徒の感想等の分析
4 まとめ	○英語で伝え合う楽しさを味わえたかどうか。 ○やり取りのある場面設定と段階的指導を行うことで、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができたか。	・事前・事後のアンケートの比較・分析 ・結果のまとめ・考察

### Ⅲ 研究内容

#### 1 外国語によるコミュニケーションとは

『デジタル大辞泉』(2011)によるとコミュニケーションとは、「情報の伝達だけが起きれば十分に成立したとは見なされておらず、人間と人間の間で、意志の疎通が行われたり、心や気持ちの通い合いが行われたり、互いに理解し合うことが起きて、はじめてコミュニケーションが成立する。」とある。つまり、コミュニケーションとは双方向で情報や意志の伝え合い、相手の気持ちや考えを理解しようとする姿勢・態度、言葉を通して人と人との交流を図ることだと考える。特に英語でコミュニケーションを行うことは、言葉や文化の異なる相手と話すことを通して、その国の文化や歴史を学ぶことにも繋がり、知識や視野を広げることができ、自国の良さや文化、歴史等についても深く学ぶこともできるため、コミュニケーション能力を育成することは重要だと考える。

現行学習指導要領、新学習指導要領共に外国語科の目標に、コミュニケーション能力を育成することが掲げられている。Canale & Swain (1980) は、コミュニケーション能力を以下のように定義している (表1)。

表1 Canale & Swainによるコミュニケーション能力の定義

①文法能力 (grammatical competence)	語彙、文法など言語項目を使いこなす能力
②談話能力 (discourse competence)	まとまりのある文章・会話を理解し、作り上げる能力
③方略能力 (strategic competence)	コミュニケーションを円滑に進めるための方略を使う能力
④社会言語能力 (sociolinguistic competence)	社会文化的規則に従って適切に言語を使う能力

Canale & Swain が示している4つの能力をコミュニケーションを行う際に必要な能力として捉え、本研究では、①自分の考えや気持ちを伝える時に文の構成を考えて伝える文法能力、②文脈から相手の伝えたいことを目的・場面・状況に応じて使用できる談話能力、③相手に効果的に伝えるために表現方法を工夫したり、知っている単語やジェスチャーを用いてコミュニケーションを円滑に進める方略能力、④相手との関係や相手の意図や思いを考慮し伝え合うための社会言語能力を育む。

また、学習指導要領は、これらの4つのコミュニケーション能力の考えを踏まえており、コミュニケーションを行う際は目的や場面、状況を意識することや他者を尊重し、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ること（社会言語能力）、繰り返したり、言い換えたり等してコミュニケーションを円滑にすること（方略的能力）、文脈により言葉を理解したり、概要を理解すること（談話能力）等がコミュニケーション能力を身に付けるために重要であるとしている。

そこで、本研究では、生徒が主体的にコミュニケーションを行う力を育成するために、これらの4つの能力を踏まえて授業を展開していく。

## 2 場面設定の工夫

これまでの授業は、その時間に学んだ文法を理解させるために、形式（文法）重視の言語活動を行ってきたため、コミュニケーションとして成立していないことが多かった。新学習指導要領外国語における資質・能力として「コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う」と示されている。

また、田中・田中（2008）は、「自己表現活動に生徒を積極的に取り組ませるためには、教師が何のためにその活動をするのか、その活動にはどのような特徴があるのか、どのように活動を工夫すべきなのか言語活動の本質を理解し、生徒の興味を高める工夫をしてはじめて表現意欲をかき立てる言語活動に変えることができる」と述べている。そこで本研究では、以下のとおり、目的・場面・状況を明確にし、生徒が英語で伝えたいと思う場面ややり取りをする場면을工夫し、生徒が意欲を持ち、自分の考えや気持ちを相手に伝えたいくなるような場面設定をし、主体的に英語でコミュニケーションを行うことができるようにする。

### (1) 必然性のある場面設定

田中・田中（2008）は、「表現の必然性を高めるとは、生徒が自然に表現してみたいと思うような場面・状況をつくること」と述べている。生徒達が学習した英語を実際の言語使用の場面で使えるような活動に変える工夫が教師には必要となる。そこで、生徒にとって興味、関心のある内容を選び、登場する地名や人物、相手等を生徒に身近に感じさせるために、実生活や社会の中でもあり得る場면을設定することで具体的な場면을イメージさせ、生徒が英語で話す必然性を感じる場面設定を工夫する。

### (2) 即興で伝え合う場面設定

「『即興で伝え合う』とは、話すための原稿を事前に用意してその内容を覚えたり、話せるように練習したりするなどの準備時間を取ることなく、不適切な間を置かずに関心と事実や意見、気持ちを伝え合うことである」と新学習指導要領で示されている。実際のコミュニケーションの場でもほとんどが原稿を準備せずに即座にやり取りすることが多い。日本語で会話をする時と同じように即興で英語でのやり取りの場면을設定し、与えられた Topic に対して自分の意見、考え、情報を相手に伝えることができるように工夫する。また、即興で話す力は、一度の授業や短時間で身に付くものではないため、毎時間の帯活動やペアでのやり取りの中で段階的・継続的に取り組む必要があると考える。

### (3) やり取りある場面設定

新学習指導要領に「やり取りを行う際は、相手の発話に応じることが重要であり、それに関連した質問や意見を述べたりして、互いに協力して対話を継続・発展させなければならない」と示されている。

本研究では Small Talk、ペアによる対話、本文の内容理解等、単元全体を通して英語でのやり取りの場면을設定し、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができるようにする。

### 3 段階的指導の工夫

表2は、生徒一人一人が主体的に英語でコミュニケーションを行うための段階的指導内容である。生徒が見通しを持ってスモールステップで学習できるように、帯活動では、毎時間ペアでやり取りを行う。最初のステップとして、会話の始め方と終わり方、あいづちやつなぎ言葉の使い方を学び、次のステップで相手の言ったことについて質問をしたり、自分の考えや気持ちの伝え方を学ばせる。最終段階で話を広げたり、会話を続けられるように段階的に指導していく。その際、役立つ表現集や会話の型などを活用しながら、徐々に自由度を上げていく。Small Talk（短い会話）は導入時に教師が行う。前時で学んだ内容や本時の target sentence を会話の中に取り入れ、その表現が使われていることを気付かせ、教師と生徒とのやり取りを通して主体的にコミュニケーションができるようにする。

表2 段階的指導内容

時	1	2	3	4	5	6	7	8	9
帯活動	会話の始め方と終わり方	あいづちやつなぎ言葉	質問と繰り返し	自分の考えや気持ちを言う	相手が話したことにコメントを言う		話を広げる	話を広げる	
Small Talk	比較級を用いた内容	比較級を用いた内容	最上級を用いた内容	more/mostを用いた内容	like better thanを用いた内容		沖縄の世界遺産について	Lesson7で学んだ文法を用いた内容	
Activities	picture description	picture description	picture description	Q&A ペアでのやり取り	グループでのやり取り	エキスパートリーディング	Q&A	ペア・全体でのやり取り	インタビューテスト
ペアでのやり取り Topic	My favorite actor	My favorite food	Where do you want to go?	Where do you recommend?	School lunch		Which do you like better, A or B?	Okinawan food	

### 4 主体的にコミュニケーションを行うとは

外国語科の目標は、「簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」を育成することである。外国語教育において主体的にコミュニケーションを行うとは、英語を学ぶことに興味や関心を持ち、英語でコミュニケーションを行うことで自分の思いや考えを伝え、相手のことを理解し、英語を通して社会や世界と関わりながら、生涯にわたって継続して英語を学び続けることと考える。これらの資質・能力を育むためには、生徒が外国語でのコミュニケーションの意義や目的などを理解し、主体的に学ぶことが必要であると考えられる。

本研究では、生徒達にとって実際の場面でどういうふうに英語を使用するのか、学んだ英語が実生活の中でどう役に立つのか理解させ、教室の時間だけの英語学習で終わらず、文法・語彙の知識を活用したコミュニケーション型授業を行う。

授業でコミュニケーションの目的・場面・状況を明確に設定し、どのような場面や状況で英語が使われるのかを生徒に体験、理解させることで、これまで学んだ英語表現を実際に使ってみようという意欲や態度を育み、主体的なコミュニケーションを促していく。また、生徒同士で学び合ったり、わからない単語や表現したいことを自ら辞書を活用して調べるなど主体的に学ぶ生徒を育む。

## IV 検証授業

1 単元名 Lesson7 World Heritage Sites (TOTAL ENGLISH 2)

2 単元の目標

○間違ふことを恐れずに会話を続けている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○Topicについて、自分の考えや気持ちなどを入れて英語で話したり、尋ねたりする。

【外国語表現の能力】

○次の表現を用いた文構造を理解する。形容詞の比較級・最上級 /more,most / 副詞の比較級・最上級  
【言語や文化についての知識・理解】

### 3 単元について

#### (1) 教材観

この単元の話題は世界遺産についてであり、生徒達にとって理解しやすく、かつ興味を引く内容である。また、世界の文化遺産・自然遺産に目を向けさせる良い機会であり、生徒が身近な沖縄の世界遺産についても学ぶ機会にしたい。

言語材料は、形容詞の比較級・最上級、more・most の用法が扱われており、実際のコミュニケーションの場面でも使用頻度の高い表現である。本単元では、比較表現の文構造を理解し、適切な文脈や場面で使用できる力を身に付けさせたい。そこで、本単元では、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行えるよう、コミュニケーションの目的・場面・状況を明確にして、ペアでのやり取りを通して、表現力を育みたい。段階的指導として、①比較の表現を用いて身の回りのことを表現できるように様々な表現活動を行い定着させる。②毎時の帯活動で、会話の型ややり取りに役立つ表現集を活用し、スモールステップで英語でやり取りができるように指導する。③導入時に行う教師による Small Talk で本時に学ぶ target sentence を会話の中に取り入れ、その表現が使われていることに気付かせ、生徒と英語でやり取りを行う。本単元では「話すこと・やり取り」に焦点をあて、生徒が主体的にコミュニケーションを行うことができるように、学習到達目標を「Topic について自分の考えや気持ちなどを入れて英語で話したり、尋ねたりすることができる」と設定し、ペアでのやり取りを段階的に指導していく。その際、生徒が話しやすい内容の題材を選び、授業全体でやり取りの場面を多く設定し、生徒が英語を話す機会を増やし、「やり取り」を通して、話す力を身に付けさせたい。

#### (2) 生徒観

12 月に行った事前アンケートにおいて、「英語が好き・どちらかというと好き」と答えた生徒は 63%である。4 領域のうちどの力を身に付けたいかの問いに対して「話す力」が最も多く、「聞く力」「読む力」「書く力」と続いた。また、「英語で話すことが好きですか」の問いに対して、69%の生徒が「好き・どちらかというと好き」と答えている。その理由として、「いろいろな人と話すことが好きだから」「自分の気持ちを英語で伝えるのが楽しいから」「伝えようと思って話したら相手に伝わるから」という意見が多かった。その反面、「英語を話すことが得意ですか」の問いに対して、「どちらかと言えば苦手・苦手」と答えた生徒が 72%であった。理由として、「文法や単語を意識してうまく話せない」「単語や文章の作り方がわからない」「言いたいことを英語で伝えられない」「英語で何をどのように話していいのかわからない」等、話すことに対して苦手意識を持つ生徒の声が多く、英語の授業で自分から進んでコミュニケーションを行っている生徒は、50%と低い。さらに、授業においてペアで英語を話す際も、伝えることで精一杯となり会話として成り立たず、一方向から伝えるだけでコミュニケーションとして十分ではないのが現状である。

これまで、スキットやスピーチ等で「話す力」を育ててきたが英文原稿を準備させたり、教師が情報を与えすぎたためにコミュニケーションとして成り立たなかった。これらの課題を踏まえ、話す側も聞く側にも必然性を持たせ、即興でやり取りできるようにし、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行えるようにしたい。

#### (3) 指導観

2 学年では、今年度より CAN-DO リストを活用し、その単元で身に付けたい力を明確にし、授業を進めている。本単元では、「Topic について自分の考えや気持ちなどを入れて英語で話したり、尋ねることができる」ことを目標に、外国語表現の能力「話すこと」に焦点を絞ることで表現力を育む。

新学習指導要領では、互いの考えや気持ちなどを伝え合う対話的な言語活動を重視する観点から「話すこと」の領域に「やりとり」が加わった。そこで、本単元では、Small Talk、ペア活動で

のやり取り、本文の内容に関する英語でのやり取りの場面を設定し、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができるよう授業全体を通してやり取りの場を増やしていきたい。生徒が今まで学んだ知識や経験を生かして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて Topic について自分の考えや気持ちなどを入れて表現できることを目指したい。

#### 4 評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力		ウ 外国語理解の能力		エ 言語や文化についての知識・理解	評価方法
	話す	書く	聞く	読む		
間違ふことを恐れず会話を続けようとしている。	Topic について、自分の考えや気持ちなどを入れて英語で話したり、尋ねたりすることができる。				・比較級・最上級の文構造を理解している。	ア 活動の観察 イ インタビューテスト エ 定期テスト


#### 5 指導と評価の計画（全 9 時間）


時	○ねらい ・学習活動	□評価規準（評価方法） ◆検証の視点【方法】
1	○単元で身につける技能や目標を知る。  <b>Topic について自分の考えや気持ちなどを入れて英語で話したり、尋ねたりすることができる。</b>	言語比較級の文構造を理解している。 （定期テスト・後日） 関間違ふことを恐れず、会話を続けようとしている（観察）  ◆ペアでのやり取り（帯活動①）で Topic について相手に伝えようとしている。【会話の観察，自己評価シート】
2	○比較級の文構造を理解する。 ・教師の Small Talk で本時の target sentence の意味を推測する。 ・帯活動②（ペアでのやり取り） Topic : 「My favorite actor」 ・比較級の表現を用い、口頭練習をする。 ・picture description でペアでのやり取りを通して、比較級の表現に慣れる。	言語比較級の文構造を理解している。 （定期テスト・後日） 関間違ふことを恐れず、会話を続けようとしている（観察） ◆ペアでのやり取り（帯活動②）で Topic について相手に伝えようとしている。【会話の観察，自己評価シート】
3	○最上級の文構造を理解する。 ・教師の Small Talk で本時の target sentence の意味を推測する。 ・帯活動③（ペアでのやり取り） Topic : 「Where do you want to go?」 ・最上級の表現を用い、口頭練習をする。 ・picture description でペアでのやり取りを通して、最上級の表現に慣れる。	言語最上級の文構造を理解している。 （定期テスト・後日） 関間違ふことを恐れず、会話を続けようとしている（観察） ◆ペアでのやり取り（帯活動③）で Topic について相手に伝えようとしている。【会話の観察，自己評価シート】
4	○ more, most の文構造を理解する。 ・教師の Small Talk で本時の target sentence の意味を推測する。 ・帯活動④（ペアでのやり取り） Topic : 「Where do you recommend?」 ・more, most の表現を用い、口頭練習をする。 ・Q&A（ペア）でやり取りし more, most の表現に慣れる。	言語 more, most の文構造を理解している。 （定期テスト・後日） 関間違ふことを恐れず、会話を続けようとしている（観察） ◆ペアでのやり取り（帯活動④）で Topic について相手に伝えようとしている。【会話の観察，自己評価シート】

5	<p>○I like ~better than . . . の文構造を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の Small Talk で本時の target sentence の意味を推測する。</li> <li>・帯活動⑤ (ペアでのやり取り) Topic : 「School lunch」</li> <li>・better than の表現を用い、口頭練習をする。</li> <li>・グループでのやり取りを通して、better than の表現に慣れる。</li> </ul>	<p>言語 like~ better than の文構造を理解している。(定期テスト・後日)</p> <p>関心 間違えることを恐れず、会話を続けようとしている(観察)</p> <p>◆ペアでのやり取り(帯活動⑤)で Topic について相手に伝えようとしている。 【会話の観察, 自己評価シート】</p>
6	<p>○本文のあらすじをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれ、エキスパートリーディングを通して本文のおおまかな内容を知る。</li> <li>・自分のパートの内容を理解する。</li> <li>・同じパート担当のグループで内容についてまとめる。</li> <li>・グループに戻りそれぞれまとめた内容を英語で伝える。(やり取り)</li> <li>・自分以外のパートの内容を聞き、まとめる。内容について質問する。</li> <li>・教師と生徒のやり取りをしながら本文のあらすじを確認する。</li> </ul>	<p>◆自分のパートのまとめた内容をグループに英語で伝えている。</p> <p>◆聞いた内容について英語で質問している。【観察, 自己評価シート】</p>
7	<p>○本文の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帯活動⑥ (ペアでのやり取り) Topic : 「Which do you like better, A or B?」</li> <li>・教師の Small Talk</li> <li>・本文の内容についての Q&amp;A を行い、教師と生徒がやり取りをしながら確認する。</li> <li>・音読練習をする。</li> </ul>	<p>◆ペアでのやり取り(帯活動⑥)で Topic について相手に伝えようとしている。 【会話の観察, 自己評価シート】</p>
8 本時	<p>○Topic について、英語で説明したり、英語でやり取りすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の Small Talk</li> <li>・帯活動⑦ (ペアでのやり取り) Topic : 「Okinawan food」</li> <li>・教師のモデルを聞き、活動の流れを確認する。</li> <li>・与えられた Topic について、英語で説明したり質問し、ペアでやり取りを行う。(ロールプレイ)</li> <li>・良いやり取りを行っていたペアを指名し、Topic について話したことを全体で共有し、2回目の活動に活かす。</li> <li>・本時間のまとめと振り返り</li> <li>・自己評価をする。</li> </ul>	<p>関心 間違えることを恐れず会話を続けようとしている。(観察)</p> <p>表現 Topic について自分の考えや気持ちを入れて英語で話したり尋ねたりしている。【観察・ワークシート】</p> <p>◆ペアでのやり取り(帯活動⑦)で Topic について相手に伝えようとしている。 【会話の観察, 自己評価シート】</p> <p>◆グループ活動で行うお題についてのやり取りは、生徒が主体的にコミュニケーションを行っている。【観察】</p>
9	<p>○インタビューテスト (評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Topic について教師が一人一人の生徒にインタビューテストを行う。(教師とのやり取り)</li> <li>・Topic について自分の考えや気持ちなどを入れて英語で説明したりインタビューに答える。</li> </ul>	<p>関心 間違えることを恐れず会話を続けようとしている。(観察)</p> <p>表現 Topic について自分の考えや気持ちを入れて英語で伝えている。(教師とのインタビューテスト)</p> <p>◆インタビューテスト</p>

## 6 本時の指導 (第8時)

### (1) 本時の展開

	生徒の学習活動	指導上の留意点	検証の視点
導 入 10 分	<p>1 Greeting &amp; Small Talk</p> <p>2 帯活動⑦ : ペアでやり取りを行う。 Topic : Okinawan food</p> <p>3 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Topic について英語でやり取りをしよう! ~沖縄のことを英語で説明しよう~</p> </div>	<p>・ Small Talk は生徒とやり取りをしながら進める。</p> 	

<p>展開 32分</p>	<p>4 教師による本時の活動のモデルを提示する。          ・ビデオの内容について確認する。          ・もう一度ビデオを視聴する。</p> <p>5 与えられた <b>Topic</b> について、英語で説明したり質問したり、ペアでやり取りを行う。(ロールプレイ)  <b>目的</b>：外国人に沖縄のことを説明する。  <b>場面</b>：南風原のコンビニの前を歩いていると、外国人観光客に出会い、英語でやり取りをする場面  <b>状況</b>：沖縄を観光中の外国人に沖縄のお薦めの観光地について尋ねられる。  <b>Topic</b>：Okinawan places</p> <p>活動の流れ  <b>Step1</b> ①役割を確認する。          A:外国人役 B:沖縄の中学生役          ②A1がTopicについてB1に質問する。(A2) (B2)          B1はTopicについてA1に説明する。(B2) (A2) (2分間)          ③A1がB2, A2がB1に②を行う。(2分間)</p> <p>1回目  <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>A 1</td><td>B 1</td></tr> <tr><td>←</td><td>→</td></tr> <tr><td>A 2</td><td>B 2</td></tr> <tr><td>←</td><td>→</td></tr> </table>         2回目*外国人役が入れ替わる  <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>A 2</td><td>B 1</td></tr> <tr><td>←</td><td>→</td></tr> <tr><td>A 1</td><td>B 2</td></tr> <tr><td>←</td><td>→</td></tr> </table> </p> <p><b>Step1</b> で良いやり取りを行っていたペアを指名し、全体で共有する。</p> <p><b>Step2</b>          (役割交換)          ①外国人役と中学生の役を入れかえ、新しいペアを編成し、<b>Step1</b> の②③の活動を行う。</p>	A 1	B 1	←	→	A 2	B 2	←	→	A 2	B 1	←	→	A 1	B 2	←	→	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面や状況を確認し、ビデオでモデルを示し、活動をイメージさせる。</li> <li>・外国人役・生徒役はそれぞれカードを選ぶ。</li> <li>・外国人と実際に話す場面を想定し、やり取りを行う。</li> <li>・間違いを恐れず、英語で伝えさせる。</li> <li>・今まで学んだ表現を用い、できるだけ会話を続けるよう促す。</li> <li>・お薦めの観光地を1つに絞ったり、話題から発展させ会話を広げられるようにする。</li> <li>・机間指導をしながら、生徒を支援する。(活動の観察)</li> </ul>  <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い表現ややり取りが上手くできていたペアの会話を聞かせ、<b>Step2</b> につなげる。</li> <li>・発表後、良かったところをコメントする。</li> </ul>	<p>視点1 場面設定の工夫があるか</p> <p>視点2 間違いを恐れず、相手に伝えようとしているか</p> <p>視点3 ペアでやり取りができていくか</p>
A 1	B 1																		
←	→																		
A 2	B 2																		
←	→																		
A 2	B 1																		
←	→																		
A 1	B 2																		
←	→																		
<p>まとめ 8分</p>	<p>6 本時のまとめと振り返り          ・自己評価を行う。          ・宿題の確認          ・次時の予告を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時を振り返り、めあてを達成できたか自己評価表に記入させる。</li> <li>・宿題としてペアで話した会話を1つ選ばせ、対話文で書かせる。</li> </ul>																	

## V 研究の結果と考察

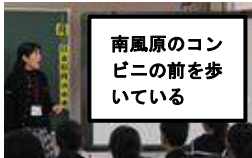
研究の考察は、事前・事後のアンケート、ワークシートの記述や自己評価、授業観察を基に行った。

### 1 場面設定の工夫を行うことで、生徒が主体的にコミュニケーションを行うことができたか

#### (1) 必然性のある場面設定

生徒に外国人とのやり取りのイメージさせるために自作のビデオを作成した。外国人に沖縄のことを説明したり、沖縄の観光地を尋ねたくなるような必然性のある場面になるように、毎時間ペアでのやり取りを行う前に、コミュニケーションを行う目的・場面・状況を確認して授業を行った。資料1は、検証授業8時間目に行った授業でその内容を確認している様子である。

目的：外国人に沖縄のことを説明する。  
 場面：南風原のコンビニの前を歩いていると外国人観光客に出会う。  
 状況：外国人観光客に沖縄の観光地について尋ねられる。



資料1 目的・場面・状況の確認



図1は、検証後に行ったアンケートの結果である。「場面・状況・目的を確認してやり取りを行うことで、以前より英語が話しやすくなったと思う・どちらかと言えばそう思う」と答えた生徒が94%であった。その理由として、「自分の頭の中で想像でき、場面に応じて話す内容が明確になった」「目的・場面・状況があるから話す内容が定まって話しやすい」などがあった。実生活に起こりうる場面や身近なことを題材に場面や状況を明確にしたことで、生徒が英語を話す必然性を感じる事ができたと考えられる。また、検証前に比べ生徒の発話量も増えてたことが授業観察からも見取ることができた。これらのことから必然性のある場面設定は、生徒が英語で表現したいと思うようになり、主体的なコミュニケーションにつながったと考える。

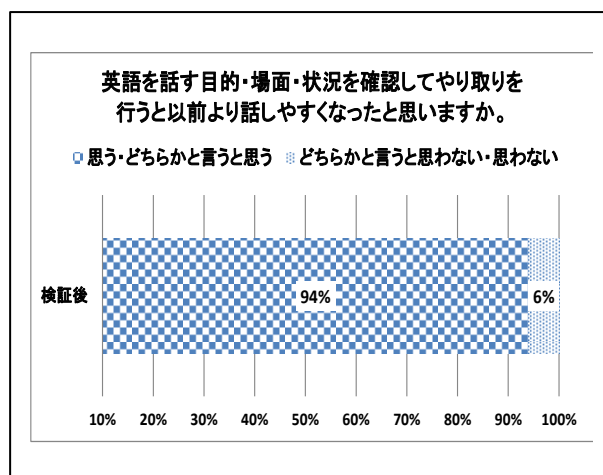


図1 目的・場面・状況に関するアンケート

## (2) 即興で伝え合う場面設定

与えられた Topic に対して自分の気持ちや思いを相手に伝えることができるよう毎時間の帯活動で即興でペアでのやり取りの時間を設定した。話す力を高める学習指導の工夫の一つとして毎時間、違う Topic について即興で話す場面を設定した。図2の検証後のアンケートで、即興で簡単なことを話すことが「できる・どちらかと言えばできる」と答えた生徒は検証前より20%増加した。生徒は、即興でのやり取りを通して、即座に相手の発話に応じ、その内容に関連した質問や自分の考えや思いを相手に伝えることでコミュニケーションが成り立つことに自信を持ち、表現することの楽しさを味わうことができたと考える。

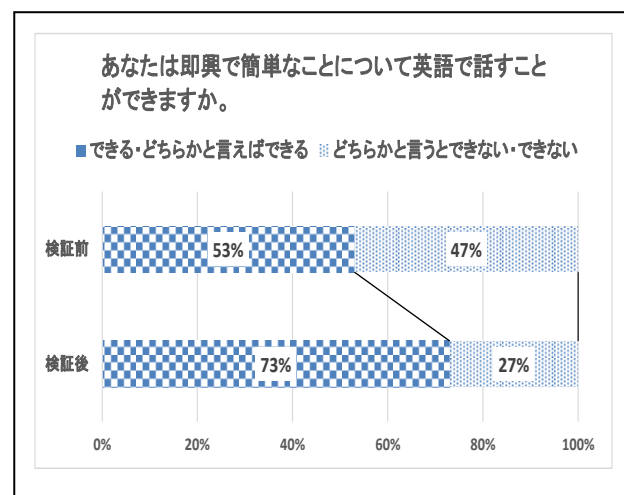


図2 即興に関するアンケート

## (3) やり取りのある場面設定

生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行うことができるように授業全体を通してやり取りの場面を設定した。Small Talk、ペアで行う帯活動でのやり取り、本文の内容に関する英語でのやり取りなどの授業中英語でやり取りできる場面を意識して作ったことで生徒が間違えることを恐れず、意欲的に英語を話す生徒が増えた。また、横ペア・縦ペア・斜めペアと相手を何度も変え、いろいろな人と関わりながらやり取りを行うことで誰とも抵抗なく会話を行っていた姿が見られたことで、やり取りのある場面設定は、生徒の主体的なコミュニケーションを促すことができたと考えられる。

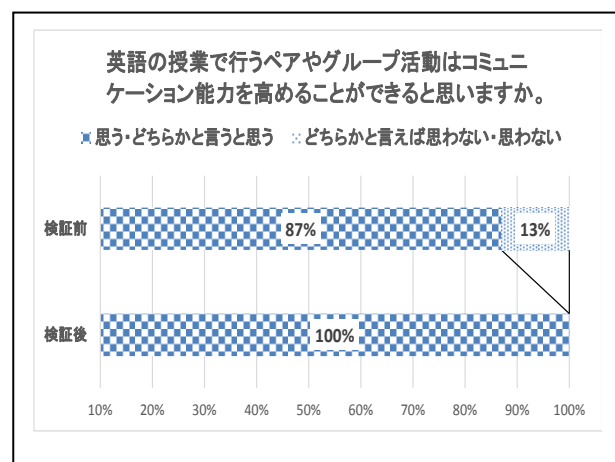


図3 ペアやグループ活動に関するアンケート

また、「英語の授業で行うペアやグループ活動はコミュニケーションを高めることができますか」という設問に対して、全ての生徒が「思う・どちらかと思う」と答えた（図3）。多くの生徒が「ペアで活動することで教え合ったりできる」「ペア活動のおかげで前より英語で話せるようになった」と記述しており、やり取りのある場面設定は、生徒の主体的なコミュニケーションを促すことができたと考えられる。

## 2 段階的指導を行うことで、生徒が主体的にコミュニケーションを行うができたか

### (1) Small Talk による段階的指導

導入時に行った教師による Small Talk は、本時に学ぶ target sentence を会話の中に取り入れた。生徒との英語でのやり取りを通して、その表現が使われていることに気付かせた。最初は簡単な内容から始め、回を重ねるごとに会話量や内容のレベルを少しずつ上げていった。Small Talk の内容も日常の話題や生徒の関心のある内容にした。また、大切な文を繰り返したり、生徒の発話を補強して繰り返したりと段階的に指導を行った。始めた頃はなかなか生徒とやり取りが続かなかったが、クラス全体に問いかけたり、個人に問いかけたり、生徒の反応に対して質問を臨機応変に変えたり、試行錯誤しながら続けることにより生徒も集中して教師が話す Small Talk の内容を徐々に生徒は理解し、少しずつではあるが教師とのやり取りができるようになり、主体的にコミュニケーションを行う態度が育まれたと思われる。

### (2) やり取りのある段階的指導

毎時間の帯活動として、毎回 Topic を与え、その内容についてペアでやり取りをする時間を設けた。ペアでやり取りをし、会話を続ける活動である。段階的指導として、やり取りで役立つ表現（資料3）を活用し、毎時間1項目を基本とし①の会話の始め方・終わり方から始め、⑧のその他の表現までの使い方を確認し、ペアとのやり取りでその表現をできるだけ使うようスモールステップで指導した。また、ペアでの活動の前に教師による会話のモデルを示した。やり取りの際には、表現集の項目を1つずつ会話表現に入れ、使い方を示した。さらに、会話を続けるためにある程度の足場かけが必要であるため、会話の出だしの文を2文程度提示し、Topic を説明するために情報が書いてあるカード（資料4）を活用し会話がスムーズに始められるよう工夫した。生徒達は、やり取りで役立つ表現を参考にしながら、Topic について、ジェスチャーも交えながら英語で自分の考えや気持ちをペアに伝えようとしていた。

**Small Talk (第8時)**

Have you heard about PyeongChang Olympics? Do you know where is PyeongChang? It is in Korea. PyeongChang Olympics is going to start on February 9th. What winter sports do you like? I like figure skating, speed skating and curling. I think figure skating is the most popular of the three. Which winter sports do you like better? By the way, Tokyo Olympics is going to start in 2020. I want to go to Tokyo to watch Tokyo Olympics. Do you want to watch Tokyo Olympics?

資料2 教師による Small Talk

**やり取りで役立つ表現**

Class ( ) No ( ) Name ( )

①会話の始め方・終わり方	②あいづち																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 Hello. / How are you?</td><td>あいひつ</td></tr> <tr><td>2 I'm ...</td><td></td></tr> </table>	1 Hello. / How are you?	あいひつ	2 I'm ...		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 Uh-huh. うん、うん。</td><td></td></tr> <tr><td>2 Wow. わあー</td><td></td></tr> <tr><td>3 Good. いいね</td><td></td></tr> <tr><td>4 Me, too. 私も</td><td></td></tr> <tr><td>5 I see. わかった / なるほど</td><td></td></tr> <tr><td>6 Really? 本当に?</td><td></td></tr> <tr><td>7 Cool. すげえね、やるじゃん</td><td></td></tr> </table>	1 Uh-huh. うん、うん。		2 Wow. わあー		3 Good. いいね		4 Me, too. 私も		5 I see. わかった / なるほど		6 Really? 本当に?		7 Cool. すげえね、やるじゃん															
1 Hello. / How are you?	あいひつ																																
2 I'm ...																																	
1 Uh-huh. うん、うん。																																	
2 Wow. わあー																																	
3 Good. いいね																																	
4 Me, too. 私も																																	
5 I see. わかった / なるほど																																	
6 Really? 本当に?																																	
7 Cool. すげえね、やるじゃん																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>3 Nice talking to you.</td><td>君と話せてよかった</td></tr> <tr><td>4 Thank you for talking to me.</td><td>私に話してくれた、ありがとう</td></tr> </table>	3 Nice talking to you.	君と話せてよかった	4 Thank you for talking to me.	私に話してくれた、ありがとう																													
3 Nice talking to you.	君と話せてよかった																																
4 Thank you for talking to me.	私に話してくれた、ありがとう																																
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 Well. えーと...</td><td></td></tr> <tr><td>2 Let me see. えーと...</td><td></td></tr> <tr><td>3 By the way. とところで...</td><td></td></tr> <tr><td>4 Anyway. とにかく...</td><td></td></tr> </table>	1 Well. えーと...		2 Let me see. えーと...		3 By the way. とところで...		4 Anyway. とにかく...		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 Pardon? 何って言ったの?</td><td></td></tr> <tr><td>2 I beg your pardon? (丁寧な表現・日本語)</td><td>もう一度言っていたら打ませんか</td></tr> <tr><td>3 How about you? あなたはどう?</td><td></td></tr> <tr><td>4 Do you understand? わかった?</td><td></td></tr> <tr><td>5 Anything else?他に何かない?</td><td></td></tr> <tr><td>6 What does it mean? どういう意味?</td><td></td></tr> </table>	1 Pardon? 何って言ったの?		2 I beg your pardon? (丁寧な表現・日本語)	もう一度言っていたら打ませんか	3 How about you? あなたはどう?		4 Do you understand? わかった?		5 Anything else?他に何かない?		6 What does it mean? どういう意味?													
1 Well. えーと...																																	
2 Let me see. えーと...																																	
3 By the way. とところで...																																	
4 Anyway. とにかく...																																	
1 Pardon? 何って言ったの?																																	
2 I beg your pardon? (丁寧な表現・日本語)	もう一度言っていたら打ませんか																																
3 How about you? あなたはどう?																																	
4 Do you understand? わかった?																																	
5 Anything else?他に何かない?																																	
6 What does it mean? どういう意味?																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 I think so. 私ちそう思う</td><td></td></tr> <tr><td>2 I don't think so. 私ちそう思わない</td><td></td></tr> <tr><td>3 Is that so? そうなの?</td><td></td></tr> <tr><td>4 Please tell me more. ちょっと教えて(詳しく)</td><td></td></tr> <tr><td>5 What do you think? あなたはどう思う?</td><td></td></tr> <tr><td>6 Let's talk about ... へんについて話そう</td><td></td></tr> </table>	1 I think so. 私ちそう思う		2 I don't think so. 私ちそう思わない		3 Is that so? そうなの?		4 Please tell me more. ちょっと教えて(詳しく)		5 What do you think? あなたはどう思う?		6 Let's talk about ... へんについて話そう		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 I'm happy. うれしい</td><td>私は幸せです。</td></tr> <tr><td>2 I'm glad to hear that. その話聞いてうれしいです。</td><td></td></tr> <tr><td>3 I'll enjoy it. 楽しみます。</td><td></td></tr> <tr><td>4 I had a good time. 楽しかったです。</td><td>(その経験や思い出を話します)</td></tr> <tr><td>5 I don't care. 気にしません(構いません)</td><td></td></tr> <tr><td>6 It's useful. 便利です</td><td>それは役に立ちます。(いい、便利です、大助かり)</td></tr> <tr><td>7 I want to ... 話したい</td><td></td></tr> <tr><td>8 I want to talk about it. 話したいことについて話したい</td><td></td></tr> <tr><td>9 I think (that) ... 私ち〜と思う</td><td></td></tr> <tr><td>10 I know (that) ... 私ち〜を知っている</td><td></td></tr> </table>	1 I'm happy. うれしい	私は幸せです。	2 I'm glad to hear that. その話聞いてうれしいです。		3 I'll enjoy it. 楽しみます。		4 I had a good time. 楽しかったです。	(その経験や思い出を話します)	5 I don't care. 気にしません(構いません)		6 It's useful. 便利です	それは役に立ちます。(いい、便利です、大助かり)	7 I want to ... 話したい		8 I want to talk about it. 話したいことについて話したい		9 I think (that) ... 私ち〜と思う		10 I know (that) ... 私ち〜を知っている	
1 I think so. 私ちそう思う																																	
2 I don't think so. 私ちそう思わない																																	
3 Is that so? そうなの?																																	
4 Please tell me more. ちょっと教えて(詳しく)																																	
5 What do you think? あなたはどう思う?																																	
6 Let's talk about ... へんについて話そう																																	
1 I'm happy. うれしい	私は幸せです。																																
2 I'm glad to hear that. その話聞いてうれしいです。																																	
3 I'll enjoy it. 楽しみます。																																	
4 I had a good time. 楽しかったです。	(その経験や思い出を話します)																																
5 I don't care. 気にしません(構いません)																																	
6 It's useful. 便利です	それは役に立ちます。(いい、便利です、大助かり)																																
7 I want to ... 話したい																																	
8 I want to talk about it. 話したいことについて話したい																																	
9 I think (that) ... 私ち〜と思う																																	
10 I know (that) ... 私ち〜を知っている																																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 It's like ... (それ印)〜のようです。</td><td></td></tr> <tr><td>2 It's a kind of ... (それ印)〜の一種です。</td><td></td></tr> <tr><td>3 It's Japanese ... (それ印)日本の〜です。</td><td></td></tr> <tr><td>4 It's for ... (それ印)〜のためのものです。</td><td></td></tr> <tr><td>5 It's a place where ... (それ印)〜する場所です。</td><td></td></tr> </table>	1 It's like ... (それ印)〜のようです。		2 It's a kind of ... (それ印)〜の一種です。		3 It's Japanese ... (それ印)日本の〜です。		4 It's for ... (それ印)〜のためのものです。		5 It's a place where ... (それ印)〜する場所です。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>1 What is your favorite food?</td><td>あなたのお好きな食べ物(お気に入りの食べ物)は何ですか。</td></tr> <tr><td>2 What do you recommend?</td><td>あなたに勧めたいものはありますか。</td></tr> <tr><td>3 Where do you want to go?</td><td>あなたはどこに行きたいですか。</td></tr> <tr><td>4 Which place will you visit?</td><td>あなたはその場所を訪れるつもりですか。</td></tr> <tr><td>5 How long are you going to stay in Okinawa?</td><td>あなたはそのくらい沖縄に滞在する予定ですか。</td></tr> <tr><td>6 When will you go there?</td><td>あなたはいつそこへ行くつもりですか。</td></tr> </table>	1 What is your favorite food?	あなたのお好きな食べ物(お気に入りの食べ物)は何ですか。	2 What do you recommend?	あなたに勧めたいものはありますか。	3 Where do you want to go?	あなたはどこに行きたいですか。	4 Which place will you visit?	あなたはその場所を訪れるつもりですか。	5 How long are you going to stay in Okinawa?	あなたはそのくらい沖縄に滞在する予定ですか。	6 When will you go there?	あなたはいつそこへ行くつもりですか。										
1 It's like ... (それ印)〜のようです。																																	
2 It's a kind of ... (それ印)〜の一種です。																																	
3 It's Japanese ... (それ印)日本の〜です。																																	
4 It's for ... (それ印)〜のためのものです。																																	
5 It's a place where ... (それ印)〜する場所です。																																	
1 What is your favorite food?	あなたのお好きな食べ物(お気に入りの食べ物)は何ですか。																																
2 What do you recommend?	あなたに勧めたいものはありますか。																																
3 Where do you want to go?	あなたはどこに行きたいですか。																																
4 Which place will you visit?	あなたはその場所を訪れるつもりですか。																																
5 How long are you going to stay in Okinawa?	あなたはそのくらい沖縄に滞在する予定ですか。																																
6 When will you go there?	あなたはいつそこへ行くつもりですか。																																

資料3 やり取りで役立つ表現

また、使って欲しい表現や生徒が用いた良い表現例を紹介することで、帯活動の回を重ねる度に表現の幅が広がり、ペアとの会話が続くようになり、発話量が徐々に増えていった。そして、図4のアンケート結果からも90%以上の生徒がペアでのやり取りを通して以前に比べ英語を話せるようになったと答えている。以上のことから、やり取りのある帯活動を段階的に指導することは、生徒が主体的に英語でコミュニケーションを行う手立てとして効果があった。

<p>カード (生徒役)</p>  <p>美ら海水族館 場所：本部 日本で1番大きい</p>	<p>カード (外国人役)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">表 (写真)</td> <td style="width: 50%;">裏 (情報)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td>名前：シュシュマ 出身地：ネパール 好きな食べ物：野菜 その他：牛肉を食べない (宗教上)</td> </tr> </table>	表 (写真)	裏 (情報)		名前：シュシュマ 出身地：ネパール 好きな食べ物：野菜 その他：牛肉を食べない (宗教上)
表 (写真)	裏 (情報)				
	名前：シュシュマ 出身地：ネパール 好きな食べ物：野菜 その他：牛肉を食べない (宗教上)				

資料4 Topicに関するカード

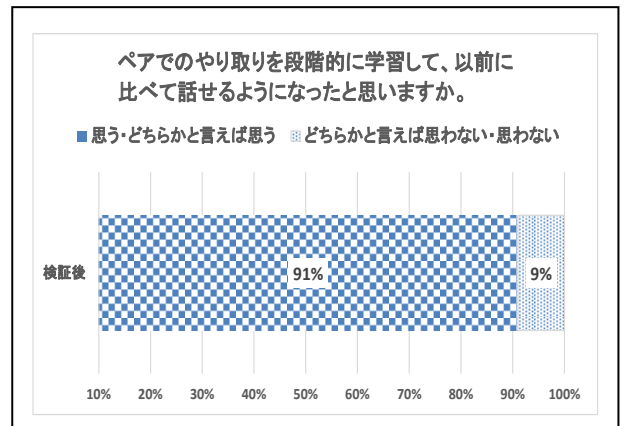


図4 段階的指導に関するアンケート

### (3) 生徒の変容

Topic: My favorite actress

A: Who is your favorite actress?

B: My favorite actress is Suzu Hirose.

A: Why?

B: Because Suzu is very cute.

資料5 ペアでのやり取り (第1時)

Topic: Where do you recommend?

A: where do you recommend?

B: My recommend place is Bibi beachi.

A: Wow, Let's talk about Bibi beachi.

B: OK! Bibi beachi is very beautiful.

A: It's nice.

資料6 ペアでのやり取り (第4時)

上記の資料5・6・7は同じ生徒の第1時・第4時・第8時のペアでのやり取りの内容である。段階的指導を行うことで、生徒の話す内容も量もレベルアップしている。英語を用いて自分の考えや気持ちを相手に伝えたいという生徒の思いがあり、やり取りを楽しんでいる様子が観察から伺えた。

Topic: Okinawan places

S1:外国人役 S2:沖縄の生徒役

S1: Excuse me. Are you an Okinawan?

S2: Yes.

S1: I want to visit Okinawan famous places in Okinawa.

S2: I...famous place is Churaumi and Kokusai Dori.

S1: Ah...

S2: Do you know ①Kokusai Dori?

S1: I don't know.

S2: Churaumi is big, No1, Japan.

S1: O.K. Ah, big, No1, O.K. Ah, let's talk about ②Kokusai Street.

S2: ③Kokusai Street is... Okinawan food.

S1: Food?

S2: Many Okinawan food.

S1: I like Japanese food.

S2: Oh, I recommend is... Okinawa soba.

S1: Soba? I like soba.

S2: Do you know? Oh...

S1: I am Mark.

S2: Good name. Cool.

S1: Cool? I have a girl friend.

S2: Oh...

S1: I have so pretty girl friend. Do you have girl friend?


S2: No, no.

S1: No?

S2: I'm baseball boy.

S1: O.K. very nice.

S2: Nice talking to you.



資料7 生徒のペアでのやり取り (第8時)

資料7は、第8時の生徒のやり取りの内容である。S2の生徒は①では Kokusai-Dori と日本語も交えて表現していたが S1の生徒の②の発話を聞き、その後 Kokusai street と表現を変えている。ペアとの会話を通して、S2の生徒は気付き、生徒同士で学び合っていることがわかる。ペアとのコミュニケーションを通して、主体的に生徒が英語を学んでいることがわかる。主体的・対話的で深い学びにつながるような授業を展開していきたい。

今回の授業で外国人と話すという勇気をもつことができました。さらに、自分の言いたいことを相手に英語で伝えることができましたので、話す時の自信がきました。また、OOさんのやり取りも、とても楽しかったです。

授業でやり取りをやっていく中で、日に日に力がついていくことが実感でき、最初に比べた話す力がついていて、会話をしている時間がとても楽しかったです。会話がスラスラ進んだり、自分の言ったことが相手に伝わったりすると、とてもスッキリしました。今回の授業で習った文法や話す力について、少しでもこれからの生活で生かしていけたらいいなと思います。また、英検にも挑戦したいと思います。

資料8 生徒の自己評価の感想（本検証後自己評価）

資料9 生徒の感想（事後アンケート）

生徒の毎回の自己評価（資料8）や検証授業後のアンケート（資料9）からも、ペアでのやり取りを段階的に指導することで、徐々に自分の思いや考えを相手に伝えられるようになったことがわかる。生徒がペアとのやり取りを通して、主体的に英語でコミュニケーションを行うことができた。今後も段階的指導を継続して行っていく。

## VI 研究の成果と課題

### 1 研究の成果

- (1) 必然性のある場面設定、即興性のある場面設定、やり取りのある場面設定を工夫した言語活動を授業に取り入れたことで、生徒が主体的にコミュニケーションを行うことができた。
- (2) 生徒の実態に合わせて Small Talk、やり取りのある帯活動を易しいものから段階的に取り入れたことで生徒が主体的にコミュニケーションを行うことができた。
- (3) やり取りを行うことで、「理解する」「表現する」という一方方向のコミュニケーションだけでなく「伝え合う」という双方向のコミュニケーションを意識して授業を進めることができた。
- (4) 文法中心の授業からコミュニケーション能力の育成を意識したコミュニケーション型の授業へ改善することができた。

### 2 今後の課題

- (1) 互いの考えや気持ちなどを伝え合う対話的な言語活動を充実させるために、ペアでのやり取りをグループでのやり取りにする指導方法を工夫する。
- (2) 生徒にどのくらい表現の基本の型を教えるか、自由度とのバランスなど生徒への足場かけの度合いをしっかりと見極め、指導していく必要がある。
- (3) 生徒同士のやり取りの際、文法が間違っている時の訂正(正しい表現の仕方)を今後どう指導していくことができるか手立てを考えていく。
- (4) 相手に自分の伝えたいことを伝えられるよう語彙力を身に付けさせ、会話の幅を広げさせるための指導方法の工夫

### 〈主な参考文献〉

文部科学省	『中学校学習指導要領解説』 外国語編	2017年
泉 恵美子・門田修平 編著	『英語スピーキング指導ハンドブック』	大修館書店 2016年
松川禮子・大城賢 著	『小学校外国語活動実践マニュアル』	旺文社 2008年
田中武夫・田中知聡 著	『自己表現活動を取り入れた英語授業』	大修館書店 2008年
村野井 仁 著	『第二言語習得研究から見た効果的な英語学習法・指導法』	大修館書店 2006年